

区連会 資料 2－7

区連会 10 月定例会説明資料
令和 7 年 10 月 17 日
みどり環境局
戦略企画課
財政局 税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]1年目の 実績報告について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、1 年目の 2024 年度を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2024-2028]2024 年度の実績概要リーフレット
- (2) 1 年目（2024 年度）の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL：671-2712 FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL：671-2253 FAX：641-2775

横浜 みどりアップ計画

[2024-2028]

2024(令和6)年度の実績概要



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2009年から「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら「横浜みどりアップ計画」を進めています。このリーフレットは、2024(令和 6)年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。





市民とともに次世代につなぐ森を育む



森が守られています

●目標(36ha)を上回る面積の森を新たに保全しました。また、必要に応じて市で買取りを行い、残された大切な緑地を永続的に守っています。

緑地保全制度による樹林地の指定面積の推移

樹林地保全の進展

これまでのみどりアップ計画
(2009～2023年度)
15年間1082.5 ha

みどりアップ計画開始前
(1969～2008年度)
40年間861.9 ha



計画開始前の
3倍以上
のスピード
で保全を推進

2024年度
49.5ha

横浜みどりアップ計画期間中(2009～2024)に
合計1132.1 haを指定

※端数処理により、面積の合計が一致しません。



円海山近郊緑地特別保全地区
(磯子区)



羽沢町具行特別緑地保全地区
(神奈川区)

	緑地保全制度 による新規指定	市による 買取り	保全した 樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha(36ha)	100ha[想定] (20ha[想定])	推進

森の手入れがされ、育まれています

●市民の森愛護会などと連携して、地域の特性を活かしつつ森を保全・管理する計画に沿って、森づくりを行いました。また、維持管理にお困りの所有者に対して助成を行いました。

	森の維持管理	維持管理の助成
2024年度実績	推進	134件
5か年の目標	推進	750件(150件)



上菅田町金草沢東特別緑地保全地区
(保土ケ谷区)

維持管理の助成を行った樹林地(南区)
作業前 → 作業後

森を知る・関わる・つながる機会が広がっています

●森づくりを担う人材の育成として、森づくり体験会や研修を行いました。市民が森に関わるきっかけづくりとして、市内大学などと連携したイベント開催等を行いました。



森づくり体験会(戸塚区)

森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

	森づくりを担う 人材の育成	森づくり活動団体 への支援	市内大学や関係団体等との連携や 区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携した きっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回(10回)	175団体(35団体)	180回(36回)	推進

暮らしを豊かにするみどりと共に

緑は、わたしたちの暮らしに潤いを与えるだけでなく、多様な機能を持っています。緑を守り・つくり・育む、横浜みどりアップ計画の取組は、その機能を活用しながら地球温暖化など社会の様々な課題の解決にもつながっています。

市民の森とは・・・

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を市民の散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。

横浜みどりアップ計画開始から16か所増え、現在43か所が開園しています。市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など多くのボランティアが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「良好な森をつくる活動」を行っています。



上川井市民の森(旭区)

緑の多様な機能

- ▶防災・減災 ▶暑さを和らげる ▶多様な生き物のすみか
- ▶地産地消 ▶美しい景観 ▶環境教育・農体験
- ▶街の賑わい・魅力 ▶地域のコミュニティ など

そして ★健康づくり・レクリエーション

市民アンケート調査では、
今後「最もおこなってみたい取組」として
**森の散策・ウォーキングが
1位に**

横浜の身近な緑を楽しもう！

「市民の森」へ行ってみよう！

市民の森 横浜

検索



市民が身近に農を感じる場をつくる



柱2

水田・農地が保全されています

●水田や農地を維持するために支援を行い、多様な機能をもつ良好な農景観を保全しました。

	水田保全面積	遊休農地の復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha(0.6ha)



農とふれあう機会が増えています

●市民が気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や、横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、農とふれあう場づくりを行いました。マルシェや直売所への開設支援や「はまふうどコンシェルジュ」によるイベント開催等の地産地消の取組を通じて、農とふれあう機会を増やしました。



	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室などの実施	直売所・青空市等の支援	市民や企業等との地産地消の連携
2024年度実績	3.38ha	119回	62件	15件
5か年の目標	19.5ha(3.9ha)	450回(90回)	285件(57件)	75件(15件)



市民が実感できる緑や花をつくる



まちなかでの緑が創出されています

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、緑豊かな公園を整備しました。地域で愛されている桜並木の再生など街路樹による良好な景観づくりを進めました。

	シンボリックな緑の創出	街路樹による良好な景観づくり
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進

2024年7月に開園しました



緑や花があふれる地域づくりの支援が行われています

●植栽や花壇の整備への助成、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑のまちづくりを支援しました。オープンガーデンをはじめ、緑や花を通じた地域のコミュニケーションの活性化を図りました。また校庭や園庭の芝生化や植樹、生きもののすみかとなるビオトープなど、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。



	地域緑のまちづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組	人生記念樹の配布	子どもを育む空間での緑の創出
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本	28か所
5か年の目標	35地区(7地区)	18区で推進	40,000本(8,000本)	100か所(20か所)

緑や花で賑わいの空間がつくられています

●山下公園や日本大通りなど都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

	都心臨海部等の緑化による魅力ある空間づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進



広報の活動

横浜みどりアップ計画の取組と成果を多くの皆さまに知っていただくために、イベントへの出展や広報紙への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いた広報を展開しました。

みどりアップのイベントや体験スポット、「よこはまこどもみどりアップ」についてはこちらをご覧ください。



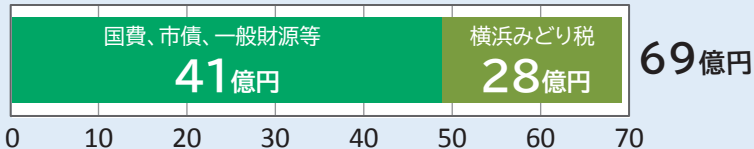
デジタルサイネージでのPR画像放映(関内駅北口)



よこはまこどもみどりアップ

事業費と横浜みどり税

● 1 か年(2024年度)の事業費(うち横浜みどり税)



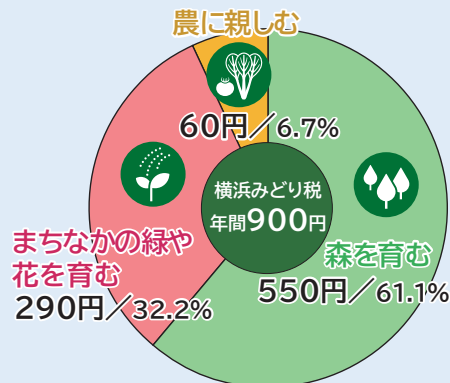
横浜みどり税の課税方法

【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

● 一人当たりの横浜みどり税の使いみち



● 横浜みどり税の使いみち

使いみち① 樹林地・農地の確実な担保

- ・ 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- ・ 水田の保全 など

使いみち② 身近な緑化の推進

- ・ 地域緑のまちづくり
- ・ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり など

使いみち③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上

- ・ 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
- ・ 街路樹による良好な景観づくり など

使いみち④ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

- ・ 森づくりを担う人材の育成
- ・ 収穫体験農園の開設支援 など



寺家町での水田の保全(青葉区)



野庭団地での花壇の手入れ(港南区)



古橋市民の森における良好な森の育成(泉区)



自然観察講習会(保土ヶ谷区)

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている組織です。取組の検証や現地視察を踏まえ、評価・提案を報告書にまとめているほか、市民目線での情報発信を行っています。



取組の現地レポート
はこちら

実績報告書は、市ウェブページをご覧ください。
区ごとの実績もご覧いただけます。



横浜みどりアップ計画

検索



横浜みどりアップ 葉っぱ

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について

みどり環境局戦略企画課 TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課 TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

【法人市民税】財政局法人課税課 TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



公式マスコットキャラクター トゥンクトゥン

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

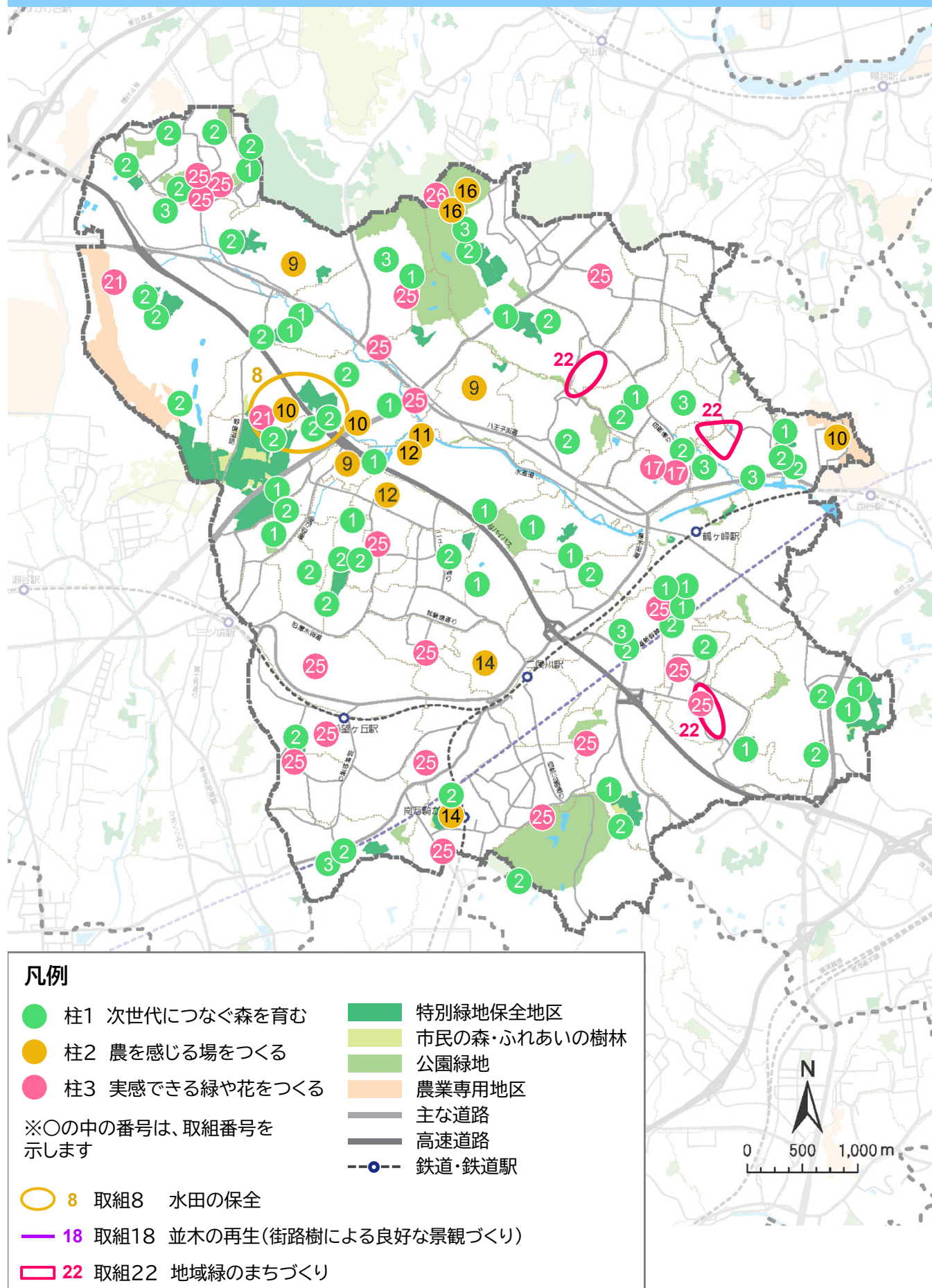
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

第4章 各区の実績

- ・各区における実績マップに示されている取組の場所は、実際の位置を正確に示すものではなく、おおよその目安としてご覧ください。
- ・市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

旭区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組 1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
新規指定 川井宿町特別緑地保全地区



取組 2

森の多様な機能に着目した森づくりの
推進
森の維持管理 鶴ヶ峰ふれあいの樹林



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組 13

市民が農を楽しむ支援する取組の推進
都岡地区恵みの里での秋野菜づくり体験教室



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組 17

シンボリックな緑の創出・育成
公共施設・公有地での緑の創出
旭図書館・白根地区センター



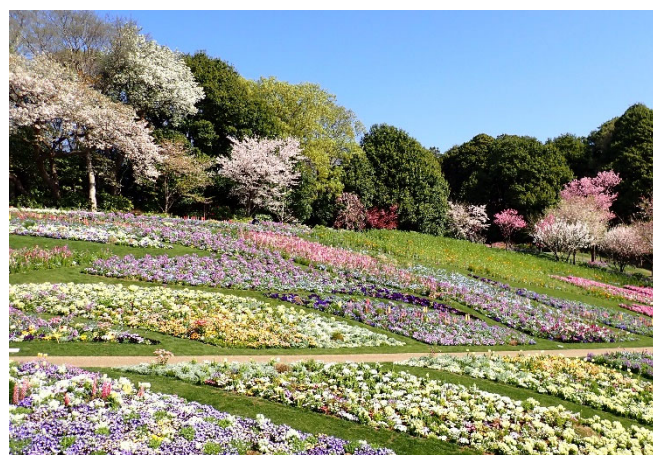
取組 23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布 鶴ヶ峰公園



取組 26

都心臨海部等の緑花による魅力ある
空間づくり
里山ガーデン



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 11.2ha

今川町西特別緑地保全地区／追分特別緑地保全地区／金が谷特別緑地保全地区／川井宿町特別緑地保全地区

緑地保存地区 0.09ha

中沢一丁目

源流の森保存地区 1.10ha

今宿南町／川井本町／下川井町

寄付緑地等 36㎡

今宿3号緑地隣接地

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.50ha

川井本町特別緑地保全地区／鶴ヶ峰特別緑地保全地区(2か所)

市民の森等 0.70ha

南本宿市民の森

・保全した樹林地の整備

10か所 市沢市民の森(2か所)／市沢ふれあいの樹林／今川町特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／白根ふれあいの樹林／鶴ヶ峰ふれあいの樹林／猪子山緑地／笹野台三丁目緑地／若葉台一丁目緑地

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 29か所

猪子山特別緑地保全地区／上川井町堂谷特別緑地保全地区／上川井町中田谷特別緑地保全地区／上川井町堀谷特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／上白根町小池特別緑地保全地区／川井特別緑地保全地区／川井本町特別緑地保全地区／川島町二ノ沢特別緑地保全地区／下川井町特別緑地保全地区／中沢二丁目特別緑地保全地区／三保特別緑地保全地区(旭区分)／市沢市民の森／今宿市民の森／追分市民の森／柏町市民の森／上川井市民の森／南本宿市民の森／矢指市民の森／市沢ふれあいの樹林／白根ふれあいの樹林／鶴ヶ峰ふれあいの樹林／猪子山緑地／今宿第二緑地／笹野台緑地／笹野台三丁目緑地／二俣川ニュータウン緑地／若葉台一丁目緑地／若葉台四丁目緑地

公園 9か所

今宿東公園／大貫谷公園／希望が丘水の森公園／こども自然公園／四季美台ふれあい公園／白根公園／松山公園／南本宿公園／若葉台公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援・維持管理の助成

10か所 上川井町／上白根町／川井宿町(2か所)／白根二丁目(2か所)／白根三丁目／白根六丁目／善部町／本宿町

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 5団体

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.79ha 下川井町／矢指町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

3件 今宿西町／金が谷／上川井町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 2件

下川井農地整備組合／西谷農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽 1件

都岡地区恵みの里運営協議会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.33ha

下川井町／矢指町

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.45ha 今宿南町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.29ha

今宿一丁目／今宿南町

●取組13 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

・市民が農を楽しむ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施31回

都岡地区恵みの里での枝豆づくり体験、オリーブ収穫体験、小麦づくり体験など

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 1件

柏町

青空市・マルシェ等 1件

横浜農協二俣川支店直売所直売班

4 各区の取組

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

春の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店及びJA横浜による市内産農産物の販売（里山ガーデン）／秋の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店及びJA横浜による市内産農産物の販売（里山ガーデン）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組17 シンボリックな緑の創出・育成

・シンボリックな緑の創出・育成

公共施設・公有地での緑の創出

旭図書館／白根地区センター

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 480本

ニュータウン通り／今宿南郵便局通りほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 4件

上川井町(1件)／下川井町(3件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 2地区

白根二丁目地区／左近山地区

協定締結終了地区の支援 1地区

上白根国際地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

旭オープンガーデン

区民利用施設で花の種配布

身近な公共施設での緑の育成 3か所

旭区庁舎／ふるさと尾根道緑道／旭図書館

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(大原西公園など84か所)／花苗の配布(大原西公園など17か所)／堆肥の配布(大原西公園など70か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

462本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所

中尾小学校

緑の育成 18か所

柏保育園／左近山保育園／鶴ヶ峯幼稚園／幼保連携型認定こども園若葉台こども園／上白根小学校／川井小学校／希望ヶ丘小学校／さちが丘小学校／都岡小学校／東希望ヶ丘小学校／万騎が原小学校／南本宿小学校／若葉台小学校／旭中学校／都岡中学校／本宿中学校／南希望ヶ丘中学校／若葉台特別支援学校

●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

・緑花による魅力づくり

1か所 里山ガーデン

よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の 税額

個人市民税均等割に年間 **900 円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。



横浜みどりアップ 葉っぱ

横浜みどり税の 使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間 900 円）の使いみち

農に親しむ

- ・農景観をまもる
- ・農にふれあう（農体験）

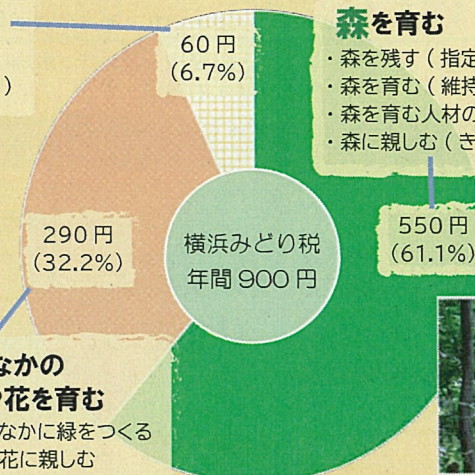


まちなかの 緑や花を育む

- ・まちなかに緑をつくる
- ・緑や花に親しむ

森を育む

- ・森を残す（指定・買取り）
- ・森を育む（維持管理など）
- ・森を育む人材の育成（活動に対する支援）
- ・森に親しむ（きっかけづくり）



横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



みどり税を活用した取組

市民とともに
次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に
農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる
緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様が取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



森林環境税（国税）と横浜みどり税



国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。



●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和 6 年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 (令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用)
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について

▶区役所税務課

または 財政局税務課

電話：045-671-2253

FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について

▶みどり環境局戦略企画課

電話：045-671-4214

FAX：045-550-4093